

2024年4月11日

通貨ニュース

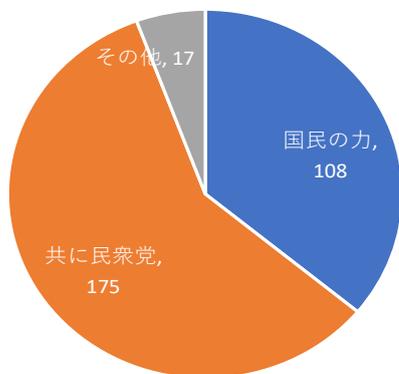
韓国：韓国総選挙を終えて～野党の大勝、尹大統領にとって大きな試練に

韓国では10日、総選挙が実施された。選挙の争点は尹(ユン)錫悦政権が国民の支持を得て、与党「国民の力」が過半数の議席を獲得し、国会のねじれを解消できるかであった。結果として、革新系最大野党「共に民主党」が議席数300のうち175の議席を獲得し、単独で過半数を確保。片や、与党「国民の力」は過半数獲得に至らず、選挙前の議席数である114を下回る108議席に留まった(図表1)。全体の3分の1以上の議席は確保できたため、野党勢力による大統領の弾劾訴追は避けられたが、野党単独での法案提出を止める121議席には届かなかった。尹大統領は「総選挙での国民の意思を謙虚に受け止め、国政を刷新する。経済と民生の安定のために最善を尽くす」と表明。また総選挙での敗北を受けて、韓恵洙首相や国家安保室を除く首席秘書官級以上の大統領室高官も全員辞意を表明したことが報道された。尹大統領の任期は残り3年程となるが、円滑な政策運営を進めることは非常に困難になった格好だ。

今回の与党敗北の原因は、物価高対策など経済政策への不満が強かったこと、野党による尹大統領の政治手法への批判が奏功したことなど、内政面での要因が強いと見られる。片や、外交面は大きな争点にはならなかったが、尹大統領はここまで日米との関係性を重視した外交を展開しており、今回の敗北を受けて求心力を失うこととなれば、3か国間の安全保障協力体制にも綻びが生じる可能性がある。足許において、中国が台湾統一に向けて強いメッセージを発信し続けていること、北朝鮮の度重なるミサイル発射訓練などを受けて地政学リスクの高まりが懸念される状況下、東アジアの情勢悪化は為替相場にも影響をもたらす論点にもなり得るため、その動向は引き続き注視したい。足許のドル高の影響もあるが、KRWは4月も軟調な値動きが続いている(図表2)。

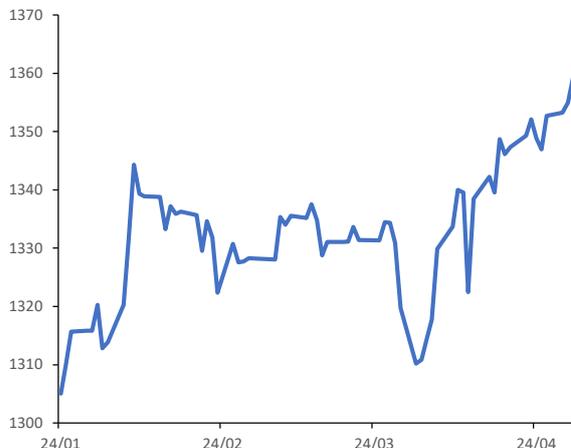
金融市場部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

図表1: 韓国総選挙の結果(獲得議席数)



出所: 各種報道よりみずほ銀行

図表2: 年初来のUSD/KRW相場



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。